

## 船舶事故調査報告書

平成29年8月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	転覆
発生日時	平成29年5月14日 10時55分ごろ
発生場所	神奈川県横須賀市猿島東方沖 横須賀港西防波堤灯台から真方位105° 1,800m付近 (概位 北緯35° 17.1′ 東経139° 42.2′)
事故の概要	プレジャーボート <sup>ウォーターランナー</sup> Water RunnerⅢは、錨泊中、転覆した。
事故調査の経過	平成29年5月17日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート Water RunnerⅢ、5トン未満（長さ3.68m）
船舶番号、船舶所有者等	235-33693 神奈川、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	船外機に濡損、左舷中央部に亀裂及び左舷に擦過傷
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風力 4 海象：波高 約0.3m
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人（以下「同乗者」という。）1人を乗せ、猿島東方沖において釣りをして錨泊中、右舷側から波を受け、海水が船内に入って水船状態になり、船長が錨索を外そうとして船首方に移動した際、右舷側に傾いて転覆した。</p> <p>船長は、防水型の携帯電話により、海上保安庁及び僚船に救助を求めた。</p> <p>船長及び同乗者は、来援した僚船に救助された。</p> <p>本船は来援した巡視艇により、横須賀市平成港にえい航された。</p> <p>船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。</p> <p>本船の船体中央付近の乾舷は、約0.2mであった。</p> <p>船長は、風が次第に弱まるとの天気予報を見て出港し、釣り場に着いた際に風は弱まっていなかったものの、釣りを始めた。</p>
分析	<p>本船は、猿島東方沖で釣りをして錨泊中、右舷側から乾舷を越える高さの波を受けたことから、海水が打ち込んで水船状態となり、右舷側に傾斜して転覆したものと考えられる。</p> <p>船長は、風が次第に弱まるとの天気予報を見て出港し、釣り場に着いた際に風は弱まっていなかったものの、釣りを始めたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、猿島東方沖で釣りをして錨泊中、右舷側から乾舷を越える高さの波を受けたため、海水が打ち込んで水船状態となり、右舷側に傾斜して転覆したものと考えられる。</p>

<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 小型船は、乾舷が低く、波の影響を受けやすいので、横波を受けないようにすること。</li><li>・ 気象、海象、船の堪航性等を考慮して出航の可否及び帰港の要否を判断すること。</li></ul>
-----------	---